福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	三菱倉庫株式会社　福岡支店
代表者名	林　和宏
所在地	福岡市博多区沖浜町６番１０号
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	運輸業、郵便業
電話番号	092-281-0266
ホームページ	https://www.mitsubishi-logistics.co.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	テレワーク・時差出勤制度を導入し、柔軟な働き方を実施している。 社員の職業生活と家庭生活の両立を支援するよう「育児休業」「介護休業」「短時間勤務」「看護休暇（有給）」「介護休暇」を導入している。また、年間の労働時間を短縮できるよう年次有給休暇の取得を推進しており労使連携のもと年次有給休暇の計画的付与制度を導入している。 社員満足度向上の為、従業員エンゲージメントサーベイを実施している。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート　　事業者名：三菱倉庫株式会社福岡支店

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	当社グループにおいては障害者雇用率目標を定め、働きやすい職場環境の整備を進めている。福岡支店においても障害者雇用を実施している。加えて、女性の管理職登用や外国人採用を推進し、多様な人材の確保、活用に努めている。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・テレワーク制度、時差出勤制度、時短勤務制度を導入し、柔軟な働き方を実施している。 ・ライフスタイルにあわせ多様な働き方ができるようエリア総合職制度を2021年4月に導入。 ・介護や子育てと両立を支援する制度を導入している。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・ハラスメント防止規定を整備し、社内に周知している。 ・ハラスメントに対する相談窓口(ヘルプライン)を社内・外部に設置。 ・人権問題やハラスメントについての社内研修を実施。 ・人権デュー・ディリジェンスの仕組みの構築に向けた取組みの一環とし、関係部署を対象にビジネスと人権に関する研修を実施。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・超過勤務時間・休暇取得状況を注視し、原因及び対策を共有している。 ・メンタルヘルスケア活動の推進(社内教育研修、ストレスチェック)を実施している。 ・福利厚生代行サービスを導入している。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・階層別研修の実施。社外研修への積極的参加。 ・IT関連の知識を習得するためのITリテラシー・スキル講習を導入。 ・各種資格取得に向けた教育機会(通信教育や語学講習)の提供。 ・インターンシップの実施 ・2年目までは新人メンター制度を導入 ・3～7年目を対象とした「海外派遣プログラム」制度を導入				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・環境省によるPCBの適正な処理指導に基づき処理を行っている。 ・各職場で古紙・再生ゴミ等の分別を徹底し、リサイクルを促進している。 ・ペーパーレスを推進し、コピー用紙の削減に取り組んでいる。 ・交通エコモ財団のグリーン経営認証を取得(永年表彰)。廃棄物削減・物流資材の節約・再利用に取り組んでいる。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・太陽光発電を活用した電力供給による環境への配慮、照明のLED化による消費電力の削減。 ・クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制や使用電力削減を実施。 ・「三菱倉庫グループ　ESG経営／SDGs対応に向けた取組みについて」において環境対応を重要テーマの一つとし、CO_2排出量削減目標を掲げている。							○					○	○				
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	備品調達時には、生物多様性に配慮した商品の購入を推進している。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけをしている。 ・トイレには自動手洗い水栓を設置し、節水に努めている。 ・当社ではエネルギーと同様、対象拠点において水の使用量も管理しており、水の使用量削減に努めている。一部施設では水洗トイレ用水に雨水を利用しているほか、上下水道について、節水の意識を持ち業務を行っている。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・定期的に安全パトロールを実施。 ・サービス品質を維持・向上するため倉庫事業部品質管理チーム、安全衛生管理体制を強化するため人事部安全推進課を新設。(2021年4月) ・AEO制度の特定保税承認者の承認および認定通関業者の認定を取得し、貨物のセキュリティ管理・法令遵守体制を確立。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・「災害時における緊急支援物資の保管及び荷役等に関する協定」に締結している福岡県倉庫協会の会員であり、中央埠頭倉庫を登録している。 ・㈱キユーソー流通システムとの業務提携により「食と医を支える新しい物流プラットフォーム」の構築を目指しており、両社の強みを生かし社会課題の解決に寄与できると考える。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報保護規則を制定している。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底。 ・情報システムへのセキュリティ対策を施し、情報セキュリティアンケートを実施している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・1997年に「行動基準」を制定し、法令順守を徹底。 ・CSRコンプライアンスハンドブックの配布。 ・CSRコンプライアンス意識調査の実施。 ・CSRコンプライアンス研修の実施。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・2021年4月に「三菱倉庫グループESG経営/SDGs対応に向けた取組み」を発信し、6つの重要テーマを定めて重点的に取り組んでいる。 ・社内浸透を図るため社長メッセージ動画の作成・説明会や研修の実施・ノベルティ作成・配付等を行っている。 ・経営計画を制定し公表、従業員向けに動画配信し周知している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・危機管理基本マニュアルを制定し、危機に対し迅速に対応。 ・関西地区に災害対策センターを設置しデータのバックアップ、社内ネットワーク、インターネット接続環境の二重化を実施。 ・「情報システム災害対策マニュアル」等による情報システム災害対策や障害対策の充実。									○		○		○			○	